

平和祈念俊



## 修旅行 集号 行 洛星新聞局

京都市北区小松原南町 **☎** (463) 3281 (代)

印刷/(有)片桐軽印刷

## 碑がある。いちいち建てる が、人の心までは溶かせな 祈念像の周りに腐るほど石 ほど原爆は人の命は奪える 平和公園には、でっかい

第五日] 明けて五日目。

仏令でぶっ壊し、戦争とい って放置したかと思えば、 たであろうか。次の臼杵の 岡城である。目もくらむ絶 にわざわざ石仏を刻み、廃 石仏もそうだ。草深い山中 壁に見上げる石垣。職人達 の残りにかかる。まずかの を築く必要がこの地にあっ べきだが、これほどの堅城 の根性は大いに尊敬される りました。 た。緑色の不気味な唇であ

生を嘲笑う我々が、たっぷ

翌三日目は普段修学旅行

む日本人らしい。 のに、いかにも安易さを好

第三日

者への援助金にすればいい ぐらいなら、まとめて被爆

九州と、そしてバスガイド いよいよ

に茶碗が伏せてある」とは

阿蘇はでかい。「盆の上

かの大阿蘇に到る。

よく言ったものだが、

人間は本当に無駄が多い。 又化財と騒いで保護する。 別府港に着き、

修である。くたくたになり

バスガイド嬢の饒舌にうん

り恥をかく番の市内班別研

そこで一泊する。

第四日)

四日目は九州を半分横断

ざりしながら雲仙に向って

瞬く間に京都。いやはや全 嬢とお別れである。 く夢のような旅であった。 させていただきました。) 早朝に大阪南港に着き、 巨船さんふらわあ号に乗 紙面の都合上一部省略

霧がかかっていない。かな

霧の」摩周湖には少しも

り雲行きは怪しいのに。

覚えてきました。ところが

てもマリモ。マリモの歌も

人間はノミのように歩いて るとなれば尋常ではない。 盆の中に京都市が四つもる

しかし、

阿蘇はコンク

トで緑どられたアスフ

らバスで国際文化会館へ向 市と少しも違わない。 崎は日本に幾らでもある都 ンダに出てみるといい。 に息苦しくなったら、 に埋っている。そのむごさ あり、どの階も人のうめき てセメントで固めたもので より原爆の資料を積み重ね った。ここは、ビルという 初の教室に着くのである。 く汽笛が鳴り、研修旅行最 延々と続く休み時間に、 加減うんざりしてきた所 九月二日の陽が高い内か 授業開始のベルよろし ベラ る。

り、もっと腹立たしいこと に自分もその一員なのであ ばかり出す観光客の為であ その日はふもとに泊る。 これら全ての横柄でゴミ

長いつきあいである。 の先6日間お世話になる、 ラスごとにバスに乗る。こ (第二日) 昼ごろ苫小牧に上陸。

の、広大な美しさがある。 て、湖に山の影が映り、 クチビル山というのがあっ このホテルに宿泊するのだ 濃い緑が目に焼きついた。 日勝峠から眼下に眺めても まれた京都とは違う意味で はやたら「広い」。山に囲 チビルに見えると教えられ 然別湖に着く。今夜はこ 車窓から見える外の風景

鍋料理との違いを見出せず ングにも納得。昼食は名物 かのモノで、派手なネーミ スから下りて見物。なかな サケが入っているからだろ 石狩鍋であったが、普通の ネーミングの二つの滝をバ 流星の滝」なる思わず赤面 してしまいそうな派手な 正午頃層雲峡着。「銀河

ここの目玉商品は何といっ

(第三日)

晴れ!

阿寒湖が美し

ア岩等の奇岩、絶壁が眺め バスは走る。観音岩、 その後、層雲峡の続きを マリ

とができたのである。

なり貴重な経験をしたが、

物が、一瞬一瞬を懸命に生

きるからこそ無限の意味を

持つのではないだろうか。

我々はこの旅で大なり小

まずは無事に帰途につくこ

ないのだ。

間も船中で過ごさねばなら

何とい

ってもまだ三十二時

獣映画のセットのような硫

黄山に立ち寄り、屈斜路湖

クッシーは現われなか

ロープウェイが目除りに行 じがらめに縛られている。 ったり来たりしている。 避壕が散在しているし、 山頂には吹出物のように退 ァルトの帯で山頂までがん

ひかり20号に乗り込む

し寒かった。

7時20分京都駅に集

す酸性の湖は青く美しい。 峠では風ビュービュー、

てはい

るが、何でも擬人化

られた。

少々こじつけめい

少

してし

まう人間の想像力に

感嘆。

ったが、美幌峠から見下ろ

研

疲れたなどと言ってら

長崎に着くのに僅か七時間

西行千里―夢のようだが

第一旦

日本を半分縦断する間、

うよやかましい人間達。 かえ、仙台へやって来た。

まずは青葉城跡。伊達政

見事な美しさをかもしだし

った大雪山と辺りの野原は

た少し後に見えた雪をかぶ

に札幌に到着。層雲峡を出

て見るものもなく、夕暮時

層雲峡を出てからは大し

ていたが…。

ホテルは何とビジネス・

第二日)

ない。 泣かせたのだがいたしかた 事故のアオリで航空会社を 向かうわけである。飛行機 エリーにゆられて北海道へ

ツク海、そして残雪が印象 り過ぎたりで大変でした。 った。「天候ハ、ワレラヲ 的だった。 予定変更したり、 見放シタ」雨にたたられ、 そんな中で薄暗いオホー が、この日は一番ひどか 時間が余

(第五日) まだ予定の半分である。

石北峠で小休憩。天候が悪 路札幌へと向う。 東北海道に別れを告げ 何も見えない。 北見、

るところが多かったようだ。 動もせず、後で悔む結果に 別れを告げ帰る日が来た。 まれたようだ。 なりかねない。コースとし や、大いに盛り上がってい ては時計台やテレビ塔が好 (第七日) 同シンミリと、と思いき とうとう六日間の長旅に

がある。有限の命を持つ生 コーンよりも美しいのです。 美しい生き物であるユニ すべて美しい―永遠に生き る事の出来る、世界で最も かって、こう言わせている。 存在であるユニコーンに向 「死ぬことの出来るものは 「一期一会」という言葉

お、中学研修旅行はM3Aの辻英史君に依頼した)。中学・高校を通じて最も思い出に残るであろう研修旅行。今回は文化祭・体育祭と切り離し、独自に特集してみた(な中学・高校を通じて最も思い出に残るであろう研修旅行。今回は文化祭・体育祭と切り離し、独自に特集してみた(な

笠

人は常に様々な欲望

まけにノミのように、うよ 上野でやまびこ53号に乗り れない。まだまだ先は長い が、 3時間かけて東京へ着いた 朝第日

ていいのか。金もうけの為 という名の自然破壊を許し に自然を独占していいのか。 体人間はどこまで観光

岸へも行ったが、あいにく 宗の像が雄々しい。松島海

ささかまぼこは安かったが ここは、いわば前菜のよ 会天で美しいとは言い難い も乗り切らなかった。名物 うなもので、まだまだ気分 さて、ここから16時間フ (第四日)

硫黄山

望することしきり。来年は

一考された方がよいのでは

防音は ホテル

なっていないはで失 ! 飯はマズイは、

というわけで3組に分かれ の出発だった。 いつもと違うバスに乗って つ選択して研修せよ。 「網走では3コースの内

と市内研修にはもってこい

晴れ。 第六日

野幌森林公園見学

らしい。 の日である。 ループはしばし残っていた 研修に行っても幾らかのグ 感じられない広大さと解放 感を満喫できる。皆が市内 せせこましい京都なぞでは あの奥深しさは圧巻である。 置く程に森林公園はよい。 メインの市内研修を差し

画しておかないと大した行 ぐらいであるが、入念に計 市内研修は各班自由であ 昼・夕食を勝手にとる

は「最後のユニコーン」の る十字架なのだ。ビーグル か。否、「不死」とは結局 年も生き続ける。これらは 中で、魔術師に不老不死の 人類の手には余る、重過ぎ 真に幸福と呼べるものなの がら孤独の中、実に三十億 不死を授けられ、苦悩しな

つか死ぬ」というのは、あ がっていた仙道がそうであ 国千年もの昔から一般に広 東西を問わずに存在し、中 れを追求する方法は、洋の まりにも有名な三段論法で は人である。ゆえに私はい 老不死」ではないであろう 望」と言えるものが、「不 れらの中でも「究極の欲 古来から何と多い事か。そ から逃がれようとした者の あるが、この「私は死ぬ」 か。「人はいつか死ぬ。私 るし、ヨーロッパの練金術 内容は様々だが、そ 地位、権力等、その を持つ。富、異性、

共通のものだが、その傾向 に強い様である。唯物論者 は寧ろ先進国のエリート層 にとって、死は自我の消滅 死を恐れる気持ちは人間

のも無理はない。しかし、 であるから、恐怖感を抱く もその一端だろう。

幸福をもたらすのか。

の作品「火の鳥」未来篇で 脈」では「現代社会におい はたして「不死」が本当に 山之辺マサトは火の鳥から れている。また、手塚治虫 ては所詮「不死」も商品と を得るであろう。」と書か りの権力者のみがその恩恵 してしか存在し得ず、一握 半村良の小説「石の血

とに限らず、

校内での行動

にも遺憾な点がかなり目に

当然のことだが、そのため

周囲が見えなくなって

堕落してしまったのではな ではないか。我々は決して タプローも成功させてきた

> 言葉等を経て最後に新郎新 のうちに式は進み、誓いの

石川先生御夫妻

審査基準

動作が軽快である。

安全確実な登降技術

必要品の所持。その

数量と保全が適当で

動作に無駄がなく

順がよい。

メンバーの連携と手

関理に手なれ、メン

パーの連携と手順か

よい。また食料計画

観天望気・天気図の

作成·解析、天気予

知ができる。

式後の記念撮影の際の石

無事終了した。

自分を大切にすることは

守

「静廟」等、守るべき

ことが守られていない。

事

合同朝礼が八時二五分

て行動することはしんどい

に関して言えば、

「時間厳

野に立って、自分を見つめ

ある。 いのだ。

入学した頃のあの緊 やればできるので

張感をもう一

度思い出そう

わった喜ばしげな表情が大 川先生の式中とはうって変

変印象に残った。

ちなみに

項

f

2.

3.

設営機切

気

步

B

新婚旅行はカナダとのこと

しまっては困る。大きな視

ることを忘れてはならない

一員とし

ではないか。

校内での集団行動

前述のような公共交通機

いささか

「洛星の生徒としてあるべ

努力すべきだろう。

諸々の問題があるとはい

先生の結婚式が、ラバディ

七月三十日、

理科の石川

神父の司式のもと、御聖堂

信をもってそう言えるよう 良かった。」と。我々も自 ず役に立つ。洛星で学べて

> 好きだったし、歴史部だと 駄目だったしね。文化部は

ありがとうございました。

指導目標

持久性のある体力を持ち

山になれた歩行ができる。

スタミナの配分を心得、安

全・確実な技術で、登山を

必要品の所持とその数量か

適当で、合理的な携行をし

手入れ、整理整頓がよい。

用具の工夫・活用 服装

仕事の分担・連携・手順が

よく、用具の取扱いが手な

食料が耐は、栄養的知識に

基づいた献立と調理法を理

解し、行動計画に適合して

気象に関する基礎知識を持

ち、観天望気、天気図の作 成と解析、天気予知ができ

工夫と応用ができる。

れている。

パッキングがよい。

楽しむ余裕をもつ。

全国高校登山大会・成績評価基準と指導目標

配点

この問の答は いるだろうか。

「ノー」であ 残念ながら

せいである。「洛星の生徒

偏に、我々生徒の甘えの

「洛星で学んだことは必

として」という自覚が欠け

いるのだ。それ以前に

評判に値する態度をとって

ことだろうか。

しまっているのはどういう

れてはならない。

このような状態になって

ものだろうか。私達はその

てそれを素直に信じてよい

目に余るものがある。帰宅 関での素行には、

き姿

を見失っているので

途中での行動に関しても良

くないうわさを耳にするこ

れば

という個人主義なの

はないか。「自分さえよけ

文

我々は校内最大行事で

ある文化祭や体育祭をうま

で行われた。

簡素ながら厳粛な雰囲気

く行ってきたではないか。

これら校外のこ

である。

徒が大声でプロ野球のこと

を向けると洛星の生 がする。思わず、

ら一回も流れなかったこと

という言葉がスピーカーか

など、それこそ、

一回もな

局

説

ある朝、

電車の中

から始まったためしはほと

んどないし、「静かにせよ」

で、

騒々しい話し声

額

で罵倒し合っているのだっ

かった。また、生徒が中心

になって行うべき生徒総会

という評判である。果たし

うまでもない。

や立会演説会に関しては言

洛星の生徒は、品行方正

第二回目の今回は二期生で京都大学法学部教授の前田達明先輩をお伺いした。先輩は 水 業 生 訪 問

未熟な我々の質問に快く答えて下さった。

あれ洛星だっ

とうぞよろしくお願い たら、 いたという事を感じるんや そういう意味で全然違って て皆知らんわなぁ。だから 僕らそんなもん着とったっ て振り返ってくれるけど、 ああ、

おきたいんだけどねぇ。 ませんよ、ってまず言って の話なんか余りお役に立ち 的に違っているから、僕ら さん方の洛星とはもう根本 我々の頃の洛星と今の皆 けどなぁ。まあそりゃ確か

輩の頃の生徒との違 は感じられますか。

生徒を見てられて、

先

間中一になったんだけどそ ど難かしいわな。やっぱり の時中学入試問題というや だけどね、僕の娘が、この いうのがある訳だ。なるほ あるか見たら、洛星中学と つを買ってね。どんなのが にかかって話した事無いん る諸君とはあまり直接お目 最近の洛星行っておられ

りの集まりだと思うんだよ

ちはすごいエリートばっか

結局ね、やっぱり諸君た

どういう意味でですか 違っているというのは

たばっかりでしょう。諸君 なぁ。我々の頃はまだ出来

立たされたり、

ないんだ。京大法学部は

審 去 卷 年

読図・地形観察が現

登山計画書の記載が

行動記録の工夫とそ

医薬品の適切な取扱

いと、基礎的教急処

パーティ内外の協議

がよく、リーダーの

指導性もよい。また

自然保護をわきまえ

マナー全般がよい。

適切である。

の活用がよい。

置ができる。

新聞なんか見たら東大卒ば っきりはそう言わんけどね。 ら東大の先生怒るから、

配 点

かりだけども、それは仕方

その制服着て歩いとっ

かな、 ろうしなぁ。我々の時分な に夜の一時二時まで勉強し 所の子供が洛星受けるため てたって話を聞いてね、ま するんだけどな。うちの近 んかより数段優秀なエリー ねえ、そりゃ体力もあるだ こなすだけの粘りというか んの事やけれども、それを して米るいうのは何ていう あれだけの受験勉強をこな トだろうなあ、 頭の良いのはもちろ と僕は推測 P.

長一短かも知れんけどの

見て思ったんだけどさ。 校則は厳しかったんで

ことでもある。だからとい かされたりしたけれど、 所でもある。このことを忘 取るべき態度や行動を学ぶ ていけない生物である。 って自分本位にふるまって と共に、集団の一員として 校は、学習をする所である 人間は決して一人では生き よいというわけではない。 よく言われているように 我々の先輩達日く まあ確かによう怒られて 生徒心得書 学 僕はよく休んでたよ。

でなあ。だから今、 うのは段々忘れちゃうもん もんで、いやな思い出とい れんなぁ。人間ておかしな っぱり厳しかったんかもし ったけどね。我々も要領が えない感じですなあ。 ったんですか、て言われて 結構いいからなあ。でもや 厳しかったんでしょう ていうぐらいしか言 厳しか

う。

どの様にお過ごしでし すけれど、洛星時代は 病弱でおられたそうで

だろうなあとあの試験問題

あそれぐらいやらなあかん

んで、 あって、運動部をなんとか だから体力のある奴にはも けど、怪我しちゃって、こ 剣道部なんかつくったんだ 僕と一年上の先輩と一緒に のすごくコンプレックスが てねえ。運動会なんかまと てさ。まあ運動部はそんな りゃあかん、てやめちゃっ やりたいなと思ってねえ、 もに出たん、何回かなあ。 本当に病気ばっかりしてい 僕は今でいう未熟児でね、 はそんなに休むんだって。 られてねえ。どうしてお前 多欠席賞をもらいたいくら ナドウ神父様によく怒 好きではあったけど

んまり窮屈だとは思わなか Ľ,

出してたのよね。その雑誌 部で「群星」ていう雑誌を

に言ってそう。上や言うた

溥

緶

B

基礎的知識に基づき、読図

地形観察が現地で即応で

登山計画書の必須事項が適

切に記載され、見やすい。

行動記録は事後に役立つ記

載をし、記録がとりやすい

医薬品の適切な取扱いがで

基礎的教急処置の知識と技

パーティ内外の協調性、リー

ダーの指導性がよく高校生

らしく素直さ、快活さがあ

り、スタンドブレーがない

また、自然保護をわきまえ

マナー全般にわたり良い。

(ゴミ処理は持ち帰りを制

は

きる。

きる。

術をもつ。

則とする)

指

京大の先生

疑因

- 宇川野

例

留意点

・記載の適切化

・左に準じる。

・左に準じる。

もすぐつぶれちゃったね。

何だかんだとつくってはつ 何せ我々の頃は無責任さ。 ぶしつくってはつぶしね。

だから人数が

B

計画記録

9. 教

10. シップ

マナ

部の

端を知ってもらえれ

諸

Iñ

やっと少しず

かん。これはもう中央につ はやっぱり東大へ行かなあ になろうと思ったら、 部は、残念ながら、お役人 京大が有るし、理科系をま は皆大体京大へ行った訳だ いてもらいたい。昔は洛星 京大がいいわけよな。法学 賞も沢山取ってるし、 ず考えてみても、 だけども、 り行くようになりだしてさ けど、この頃は東大ばっか ぜひ京大法学部の宣伝を書 しとこうと思うんだけど、 **最後に、諸君達にお願い** では、 最後に何か。 せっかく近くに ノーベル 絶対

法学部は非

Ø

58

リズム感

足をひきずる

登りに歩幅が大きい

その山に見合った必要品の

携行(而具、防寒具、懐中

電灯、細引、医薬品、非常

破損、足まわり、その山に

ペグの位置、角度、打込み

コンロの正しい使い方

燃料 (量・管理)

天気図の作成 - 予知

調理の手順、手慣れ

食、水筒、修理具等)

適した服装

張り欄、張り方

使いかた

背負い方

使い方

清潔

下りに膝がかたい

とい

点

• 7771

・バランス

一生懸命よくやりま ながっとるから仕方がない なりたい人だったら、 だけどそれ以外、特に裁判 わざ東大まで行かなくても 検察官、弁護士とかに

て発足、翌34年正式のクラ

昭和33年山岳同好会とし

京都府予選会で19期の米谷

編

集後

記

2

かね、

部もやってたな。その文芸 ってましたねえ。彼は文芸 の頃には減ってましたね。 っちゃったりしてね。卒業 んなわーっとつくるんだけ 訳よ。おもしろいから、 うれしくってしょうがない つくれる訳でしょ。つくっ 無い訳よな。だから何でも 同期でいっしょに歴史部や 英語の山岡君て居るでしょ たら全部我々が創始者ね。 今よりか沢山有ったんだ というのは、何せ何も 山岡先生ね。彼、 そのうち立ち消えにな 文化部はいくつ位有っ 僕と 大へいらっしゃい。それに って無い訳よな。だから京 訳よね。憲法なんて法律の に来てくれなんて言ってる けよね。東大法学部は、 司法試験の試験委員は京大 準は絶対負けない。客観的 中心でしょ。だから学問水 くて困ってて、 えば憲法なんか先生がいな 学部の学問水準が非常に高 法学部が一番沢山出してる 司法界では東大出たから得 東大閥京大閥って無いし、 いという事は皆認めてるわ んだ。というのは、京大法

洛星から優秀な人に来ても ね。だから、もっともっと 常に間口が広いですから う人は法学部に来ればいい るようにはなりたい。 君達の中で、何になるかま と思うんやね。 だよう分からん。でも食え 違うからね。それから、 なったわけ。 つ増やしていって四百名に すよね。今、 た。東大は六百名居るんで 時二百七十名しか居なかっ

angle32

裁判官になったら、

(11)

山

府代表 (於福岡県)。昭和 第18回高体連全国大会京都 於兵庫県)。昭和49年、 第30回国民体育大会

> 中学1年から入部する 今日に至っている。ま

高体連全国大会京都府代表 馬県)。 全国大会京都府代表(於群 と改称した。 ブとして認められ、 昭和44年、 昭和45年、第14回 第13回高校連 歷 山岳部 のチー 体に出場した。その他、近君が少年の部で優勝し、国 た、 ず、 には優れた部員はいたもの 畿大会には6回出場権を得 争うため出場権を獲得でき ティ4名の編成)選手権を てきたが、その後は個人的

ムを組んで (1パー

なってしまうらしい。我ら 暇があるとどこかオカシク ▽人間というものは長い休

る。 の大きな理由にもなってい 弱体化してきたことも敗因 の練習の積み上げができず ては有利である低学年から 部員が激減し、本校にとっ

く、基準トン は南アルプスでの夏期合宿北山、比良、北アルプス又

らい「評価基準」を載せて無理な願いを聞き入れても 近の生徒達は魅力を感じな いただくことにした。山岳 ものだと私は願っている。 いのかも知れない。しかし 養う地味な部活動のため最 を通じて体力や生活技術を 今回の記事を機会にして、 ついて度々質問があるので 第二の黄金時代を築きたい 山岳部の成績評価基準に

だと思う。

ンタビューの原稿を仕上げ 遅れたのはひとえに僕がイ うだ。―こんなにも発行が

なかったせいです。

(頽廃少年)

(合計 100点)

※基準点を各々項目別配点の70%とし、加点・減点する。

編集長 HⅡB 員 HⅡC 長 H I A HIE HID HIC 伊藤 白藤 森川 岸本 桑山 津田

問 英語科 HIF 藤田 本郷 拓 克 由剛 己 樹 洋 文 憲言

スタッフ

局局

\*\*\*\*\*\*

決めることは無理なのだろ 講演者が例年どのようにし うか。まず無理だろう。 ていない。生徒が講演者を て決まるのか全く知らされ いうものがないのだろう。 ▽なぜ文企に講演パートと [ルーキー]

言うとった。大丈夫かいな。 やった。それより、ヘタす のユニコーン」は傑作です。 か哀しい。ところで「最後 かな。 るとこの新聞ボッになると けるまでが、ホンマ、大変 が書き終わったで。手ェつ せっかく徹夜で締切りに間 勤勉な新聞局員もその例に のだろう。疑問だ。 たいなにを根拠にしている とは思えないのだが。いっ 生のすべてが書かれている ある。たった一冊の本に人 僕はいつも疑問に思うので ったんだろう。私はいささ に合わせた私の苦労は何だ 集長に命じられてしまった。 ない。ああ恨めしき夏休み もれず、原稿がロクに集ら ▽ようやく研修旅行の記事 ▽占いとは何なのだろう。 「衣笠」の書き直しを編 [未だボケてる編集長] [ギャモン] [反在士] [座敷狼]

▽うーん。これを見た人の ひんしゅくが目に浮かぶよ